

令和7年度 第1回

君 津 市 総 合 教 育 会 議 会 議 録

日時：令和7年8月18日 午後2時15分から

場所：君津市役所5階大会議室

令和7年度 第1回君津市総合教育会議

- 1 日 時 令和7年8月18日(月)
午後2時15分開会、午後2時43分閉会
- 2 場 所 君津市役所大会議室
- 3 出席者 市長 石井 宏子、副市長 荒井 淳一
教育長 粕谷 哲也、教育長職務代理者 小倉 洋一
教育委員 佐藤 薫、教育委員 増田 亜紀
- 4 出席職員 教育部長 高橋 克仁
教育部次長(事)教育総務課長 田渕 陽子
教育部副参事(事)学校教育課長 諏方壽一郎
学校教育課指導担当主幹(兼)教育センター所長(兼)教育支援センター所長 武次謙治郎
教育総務課副課長(兼)学校再整備推進室長 岡本 忠大
教育総務課学校再整備推進室主査 伊藤 良平
- 5 傍聴人 1名
- 6 議 事 (1) 大和田・坂田小学校統合施設整備事業の完了報告について

7 議題及び議事の概要

(1) 次第 1 開会

教育部長 定刻になりましたので、ただいまから「令和7年度 第1回君津市総合教育会議」を開会いたします。それでは、会議次第に沿って進めさせていただきます。初めに、石井市長からあいさつを申し上げます。

市長 教育委員のみなさまには、ご多用の中、ご出席いただき誠にありがとうございます。また、日ごろより、市政各般にわたり、格別なるご支援、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本会議は、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、本市の教育の課題やあるべき姿を共有しながら、より一層民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的とした会議でございます。

本日の案件は、「周西の丘小学校の完成した新校舎について」報告を1件予定しております。周西の丘小学校の新校舎については、予定通り完成し、8月15日に、市に引き渡されたというところでございます。これから、引っ越し等の作業が始まりますが、9月3日から登校する子どもたちのために、しっかりと準備を進めてまいりたいと考えております。

教育委員のみなさまには、本市の教育行政の充実に向け、忌憚のないご意見をいただくとともに、本会議の充実を祈念し、あいさつといたします。どうぞ、よろしくお願いします。

教育部長 ありがとうございました。それでは、議事に入ってまいりたいと思います。
はじめに、この会議の進行でございますが、君津市総合教育会議運営要綱第3条第2項の規定により、議事の進行は、議長が指名する職員に行わせることができるとされていますが、市長、いかがいたしましょうか。

市長 高橋教育部長、お願いいたします。

教育部長 ただいま、市長からご指名をいただきましたので、私が会議の進行を務めさせていただきます。よろしくお願いします。

なお、本日の会議を1名から傍聴したいとの申し出があり、これを許可いたしましたので、ご了承願います。

(2) 次第 2 議事

議事1「大和田・坂田小学校統合施設整備事業の完了報告について」

教育部長 それでは、議事に入ります。

議事1「大和田・坂田小学校統合施設整備事業の完了報告について」を
議題といたします。はじめに教育長よりお願いします。

教育長 本学校の整備につきましては、令和元年度に策定いたしました学校再編
第2次実施プログラムのもと実施してまいりました。

新校舎については、旧坂田小の校舎を活かして、改修した校舎や増築の
ために新築した校舎もございます。施設の特徴は、この後、担当より説明
させていただきますが、この令和の時代にふさわしい魅力的な学校となっ
たと思っております。

今後も、教育委員会といたしましては、子どもたちが10年後20年後
に君津で学んで良かったと言える魅力ある学校づくりを進めるため、市長
部局と連携、協議を強化しつつ、教育行政の充実に努めてまいりたいと考
えております。

以上でございます。

教育部長 続きまして事務局より説明いたします。お願いします。

教育部次長 私からは、議事(1)大和田・坂田小学校統合施設整備事業の完了報告
について、ご報告させていただきます。

まず、周西の丘小学校についてですが、令和7年5月1日現在、児童数
525人、24クラスあり、市内で一番児童が多い小学校です。学校再編
第2次実施プログラムに基づきまして旧坂田小の敷地にて進めました、周
西の丘小学校の新校舎の整備は、令和5年12月から始まり、今年8月に
完成し、引渡を受けております。新校舎整備に係る総工費は、約30億2
500万円です。

今後のスケジュールですが、明後日8月20日より3日間、引越し作業
をし、児童を迎える準備を行い、9月3日の始業式の運びとなっております。
施設整備のコンセプトですが、「子どもたちにとってよりよい教育環
境を目指し、学校の活性化を推進する」ということで、多様な学習環境へ
の対応可能な施設整備、快適で安全・安心な施設整備、地域活動の拠点と

なる施設整備、既存施設の有効活用と効率的な施設配置、これら4点を基本コンセプトとしました。施設整備の特徴といたしましては、避難所機能や学童、小中高連携など、地域と繋がる施設として一体的に整備することとし、用途の複合化を図るとともに、学校運営には支障がないように配慮した配置を考えました。また、学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」の実現や、i P a dの有効活用など、読書・調べ学習等における情報収集の中心となる学校図書館、いわゆる情報センターを整備しております。さらに、管理普通教室棟にエレベーターを設置し、上下階への移動のバリアフリー化を図りました。また、歩行者と車両の敷地への出入り口を分けるなど、歩車分離ができるような設計を行い、安全確保に努めました。配置図になります。既存校舎につきましては、全面的に改修を行いました。加えて、オレンジ部分が校舎増築部分、またオレンジ色の改築部分が体育館になります。整備にあたりましては、学校機能の他に、避難所機能や放課後児童クラブを整備しました。これらにつきましては、担当課である危機管理課やこども政策課とも連携して整備を進めました。外観イメージ図になります。既存校舎、増築校舎、体育館、エレベーター棟になります。これらの建物は、先ほど特徴の部分で申し上げましたが、一体的に整備し、内部で繋がっております。教室と音楽室などの特別教室との行き来がしやすく、子どもたちの休み時間を有効に活用できるつくりとなっております。学校図書館のイメージ図になります。非常に開放的な空間となっております。隣接する少人数教室が見えるようになっており、行き来できるような空間となっております。ここで行われる1人1台端末のi P a d、また大型提示装置を活用した学習や、児童自らによる調べ学習等の主体的な学びは、情報活用能力を育成し、将来を支える人材育成においてとても重要であると考えております。また、隣接する少人数教室では、グループ学習、少人数学習など、多様な学習を可能としております。少人数教室には、可動式の仕切りを設置し、部屋を分割することができ、様々な使用方法を可能としています。なお、少人数教室につきましては、2階だけではなく、3階と4階にも配置しております。

校舎の全体的な特徴といたしましては、校舎が内部でつながり、ぐるっと回ることができるようになっており、児童や教職員が移動しやすく、給食配膳もしやすい教室配置としています。また、学校図書館や少人数教室を、自発的な学習や読書活動に沢山活用してほしいという考えか

ら、校舎の中心に配置し、教室と行き来しやすいつくりとしました。
説明は以上になります。

教育部長 事務局からの説明が終わりましたので、ここで委員の皆さんからご意見
やご質問をいただきたいと思います。

小倉委員 施設整備のコンセプトのところに地域活動の拠点となる施設整備とな
っていますけども、上総小櫃中も最近できて、教育委員をしていたり、ブ
ラジル関係で学校に行くことは、他の人などに比べれば多いと思うのです
が、そんな頻繁に上総小櫃中に行っているわけでもないのですけども、こ
の学校が地域活動の拠点となる施設整備となるというのは、具体的にどう
いう感じになるのか説明をお願いします。

教育部次長 地域と連携した施設として、放課後児童クラブを併設しました。また災
害時の活用を想定して、屋内運動場とエアコンの入った多目的室を一体的
に整備し、避難所活用できるようにしました。また防災倉庫を体育館に入
れたことにより、スムーズな避難所設置が可能となりました。

教育部長 他に何かご質問等ございますか。

佐藤委員 施設の特徴として、多様な学習、読書、情報収集の中心として学校図書
館を整備されたとのことで、先ほどの開放的な空間の写真を見させていた
だいたのですか、今までの図書室プラス情報センターが加わったことによ
って具体的にどういう特徴があるか教えてください。

教育部次長 先ほどイメージ図を見ていただいたとおり、広い空間になっておりま
す。隣接する少人数教室と図書館を一体化し、調べ学習をしながらグルー
プでの話し合い活動や、発表会など、様々な用途に使用できるスペースと
なっております。この後の見学会でもご覧になっていただきたいと思います。

教育部長 他に何かご質問等ございますか。

増田委員 内部がつながっていて移動しやすいということだったのですけども、給

食に関して、児童や先生方はどのように教室へ運んでいくのかを教えてください。
いただきたいです。

教育部次長 この施設の特徴である回廊型の廊下を利用し、ダムウェーターで各階の配膳室へ運び、その後、ぐるっと回って運んでいくことができます。また一階についてもできるだけ段差をなくし、スムーズな運搬ができるような設計にしております。

小倉委員 給食を運ぶのにエレベーターを使ってもいいのですか。

教育部次長 ダメとは言えませんが、ダムウェーターが給食の運搬用になっていきますので、臨機応変に使えるのではないかと思います。ダムウェーターに人を乗せることはできません。

教育部長 他に何かご質問等ございますか。

小倉委員 周西の丘小学校の校舎が新しくなって、これまで使ってきた旧大和田小学校の校舎に、スポーツ関係の学校である「学校法人タイケン学園」が使用する手続きが進んでいることを聞いたのですが、これが本市の小中学校にどのような影響があるかというのが分かればお願いします。

教育部次長 学校法人タイケン学園につきましては、旧大和田小学校の施設を活用して新たに大学と通信制の高校を誘致するという話になっております。令和8年4月からの運営開始を目指していると伺っております。例えば。体育系の大学ですので運動部活動等で連携が可能かと思いますが、具体的な内容については、まだ決まっておりませんので、これから具体的な内容について協議検討してまいりたいと思っております。

小倉委員 旧大和田小の敷地は、タイケン学園に売却なのか、賃貸なのかとかどうなっていますか。

教育部次長 こちらの旧大和田小学校につきましては、無償の譲渡という形をとることになっております。

教育部長 いずれにしても、進出してきたあとに連携をとって、教育効果が高

まれば良いかと考えているところでおります。

市長

そもそもあの地域は、学園の丘構想ということで、小中高、そして近くにはポリテクセンターがあって何らかの形で学園の丘というものを形成していくということで、この間、様々な政策を進めてきたところがありまして、その空いた大和田小学校について、そういった観点から学校法人とか教育に関わるところで、どこか参入していただけないかと思って公募をいたしまして、学校法人タイケン学園がウェルネススポーツ大学という大学を開設するという応募をいただき審査の結果、今手続きを進めているところであります。土地や建物も含めて無償譲渡の方向で、これは議会の案件でありますので、議会にご理解をいただいた上で進めていきたいと考えております。当初大学を予定しておりましたけれども、法人側からは、通信制の高校も開設したいということで、通信制の高校の場合、近隣に君津高校もありますけれども、またターゲット層も違ってくると思いますので、様々な広がりができるのではないかとということもありまして、大学も1学年、今のところ開設当初には100人で、400人規模で開設を考えておりまして、今おっしゃってくださったように学部がウェルネススポーツ大学は1学部なのですが、今、茨城の利根町で開設している大学なのですが、そちらの定員がいっぱいになってきていて、さらに拡大をしていきたいということで、君津市で開設したいということであります。スポーツに的を絞っておりますので、そのような学生が、関連する高校、タイケン学園が運営している高校であるとか、そういったところから多くの学生が希望してくるのではないかと考えておりますし、当然ながら近隣市や君津市の子どもたちも希望すれば目的、目標を叶えることができるのではないかと考えております。本市にとっては大学進学のところでは東京なり神奈川なり君津から離れていく子どもたちが多い中で、少しでも君津で学び続けていただくことができれば良いと考えておりますし、小学校や中学校、主にスポーツの大学でありますので、例えばでありますけれども、部活動の地域移行であるとか、様々なそういった面で、お手伝いを願えるのではないかと考えておりますし、教員養成であるとか、教員だけに限らず地域の企業に就職するとか、そういった人材を育成していただくことができればというように思っております。そうするとまさに、地域が他のまちにはない小中高大がしっかり揃った教育環境を提供できる、駅から近いところで

ご提供できる環境になっていくのではないかと考えておりますので、非常にウェルネススポーツ大学の進出には期待をしているところであります。また、みなさまから様々なご意見をいただきながら、より良い教育環境をつくってまいりたいと考えておりますので、良いご指導をいただけたらと思います。よろしくお願いします。

教育部長

詳細な説明ありがとうございました。

何かご質問、ご意見等ありますか。

質問等もないようですので、それでは荒井副市長、いかがでしょうか

副市長

この度、学校を整備したのですけども、この前、津波警報がございましたが、人見地区の人たちが心配して山の上の人見神社に避難される人もいたのですけども、やはりここの学校がそういう方たちに、津波警報の場合も避難所の拠点になります。そのためにいろいろ学校側にも配慮をいただいて、いろんな防災機能も整備をすることができましたので実際、災害にならないのが一番ですけども、もしなった場合、学校側と協力し合って避難所として運営がスムーズにいくように協力していきたいと考えております

教育部長

最後に、市長、いかがでしょうか。

市長

教育委員会のみなさまには、非常にこの件に関しましては、様々な取り組みいただき、このあと初めて新しい校舎を見ますので非常に楽しみにしております。子どもたちにとって良い教育環境を提供することができれば良いと考えております。それに向けてご準備いただいたみなさまには、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

1点、通学路であるとか、地域の皆様からは朝の登校時や下校時もそうですが、車の通行量について様々なご意見を頂戴しておりますけども、もしそのあたりでご配慮されていることであったり、9月3日以降の状況も見えていただきながら子どもたちの安全対策をしっかりとっていただきたいと思いますけれども、そのあたりについて説明をいただければと思います。

教育部長

今、着々と準備を進めているところですが、それまでの間に一番遠くから通っている子どもたちが、どこから、どのように通っているのか、あるいは、コミュニティバスが走っていますけども、バス停を増やしたりしますけども、それが、どのように使える可能性があるのかということを職員が行って、いろいろと事前に見てまいりました。教育長と私も数度に渡って実際に神門の方から坂を子どもたちと一緒に歩いて登校の様子を見たり、下校の様子を見に行ったり、あるいはバスに乗って、どのような状況でバスが運行されているのか再確認をして、子どもたちの様子を常に見ているところです。それ以外にも職員が実際に雨の日の車の送り迎え様子がどのようになっているのか、駐車場の混み具合とかも見てもらっていますし、雨の日と晴れの日との差はどのようなのだろうかとか、移転したらどうなるのかという推計もしているところであります。そういった万全の準備をしながら、実際に新しい校舎に移ったあとどうなるのかという経過も見て子どもたちの様子を見ながら安全な通学の確保に努めてまいりたいと思っております。大きなところではそのような感じであります。

市長

ありがとうございました。引き続き、子どもたちは環境が変わることによって様々な変化もあろうかと思えます。まずは学校現場でしっかりとご対応いただきながら教育委員会も子どもたちの安全についてしっかりサポートいただければと思いますのでよろしくお願いします。

教育部長

ありがとうございました。議事(1)「大和田・坂田小学校統合施設整備事業の完了報告について」を終了させていただきます。

(3) 次第 3 その他

教育部長

それでは、以上で本日の議事はすべて終了となります。次第の3 その他でございますが、連絡事項等も含め、事務局、委員の皆さん何かございますか。

学校教育課指導
担当主幹

教育センターから1点報告させていただきます。8月6日(水)に本市の英語教育事業にありますイングリッシュ・デイ・キャンプが行われましたので報告させていただきます。久留里にあります上総地域交流センターを会場に、小学校5・6年生38名が、外国語指導助手16名と一緒に英語によるコミュニケーションのみで様々な活動に取り組むイングリッシ

ユ・デイ・キャンプを開催しました。「EXPO KIMITSU 2025 君津ばんぱく」をテーマとし、大阪・関西万博会場とオンラインでつながるイベントも実施しました。参加した児童のアンケートからは道案内や好きな食べ物を紹介する活動などを通して、自分の英語が相手に伝わる喜びを実感できたという様子うかがえました。

(4) 次第 4 閉会

教育部長

その他何かございますか。

他に無いようでございますので、以上をもちまして、令和7年度第1回君津市総合教育会議を終了させていただきます。

ありがとうございました。